



訪問診療・往診専門

医療  
法人

かさまつ在宅クリニック

かさまつ通信

No.41

令和6年2月

## 2024年の話題

2024年は、「甲辰（きのえたつ）」です。クリニックとして成長しながら、在宅医療の質を微力ながら整えていきたいと考えています。今年的话题をいくつかお伝えします。

### 【1】個別避難計画、急務です

1月1日、能登半島地震が発生しました。いまだに多くの方が避難し、停電、断水が続いています。福祉避難所の開設、二次避難等が思うようにすすんでいません。能登半島の復興に間接的でも協力していきたいと思えます。我々は、能登半島地震の報道記事を南海トラフ地震と置き換えて、教訓を学び、準備していかなければなりません。

### 【2】認知症新薬が承認されました

昨年、認知症新薬『レカネマブ』が承認されるかも？と書きましたが、承認されました。現在患者さんへの投与が始まっています。「軽度認知障害」の方が対象になっています。認知症は、薬物療法だけでなく、非薬物療法も重要です。認知症と診断された方の心のケアや認知症新薬の対象にならなかった方のサポートも重要だと考えています。

### 【3】感染症対策が引き続き必要です

コロナもインフルエンザも感染性胃腸炎も流行っています。体調管理に努めてください。手洗い、うがいなど基本的な感染対策を続けてください。そして、しっかり休養と十分な栄養補給をお願いします。

### 【4】医療デジタル化すすんでいます

マイナ保険証への移行がすすんでいます。現在、在宅医療におけるオンライン資格確認の準備がすすめられています。専用のスマホでマイナ保険証を読み取る方法が国から提示されています。マイナンバーカードを持っていない方は、「資格確認書」という保険証の代わりとなるものが無料発行される予定になっています。

### 【5】医師の働き方改革が始まります（4月～）

病院勤務の医師の働き方が報道されていますが、病院以外の医師の働き方も同じ考えだと思っています。

「人を救うには、まずは自分が健康でなければならない。（日本救急医学会より）」

当クリニックも休診日は診療をお休みさせていただきます。ただし、急ぎの場合はこの限りではありません。御理解いただければ幸いです。（院長 笠松 哲司）

### 【お知らせ】

令和6年3月3日(日)、徳島グランヴィリオホテルにおいて、  
徳島市在宅医療市民公開講座が開催されます。

詳しくは、徳島市在宅医療支援センターにお問合せください。





訪問診療・往診専門  
医療法人

かさまつ在宅クリニック

かさまつ通信

No.41

令和6年2月

暦の上では立春を過ぎましたが、厳しい寒さが続きます。ちょうど今は、関東地方でも大雪警報が出され、交通もマヒしているとの報道。元日の北陸能登半島での大震災では、再び地震、津波による甚大な被害状況が連日映像で報道され、自然災害は遠いようでありながら身近な問題であると、日々感じながら過ごしています。2024年の旧暦正月は2月10日。遅ればせながら、今年もどうぞよろしくお願い致します。

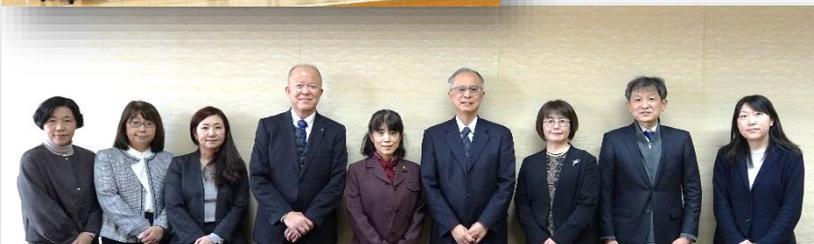
さて、令和6年2月6日、第69回四国公衆衛生学会総会にシンポジストとして参加させていただきました。学会長の徳島大学公衆衛生学教室の森岡久尚教授が、徳島大学医学部時代の同級生、かつ徳島大学小児科学教室同期入局というご縁で呼んでいただきました。「子どもまんなか社会の実現に向けて」というテーマのもと、国立成育医療研究センター理事長の五十嵐隆先生から特別講演を賜りました。五十嵐隆先生は、元東京大学小児科教授、前日本小児科学会会長でいらして、小児科医であれば知らない人はいないであろう程の、雲の上の存在のような先生でいらっしゃいます。同じ壇上で隣に座らせていただくなど、私のような片田舎の小児科医にとっては、とてもとても恐れ多いことでした。しかし、控室でも気さくにお話を下さり、ありがたいお話をたくさん伺えて、数少ない小児在宅医として折れそうになっていた心が潤いました。

約20年間に渡り、厚生労働省で母子保健を担当されていた森岡教授が徳島に戻ってこられ、この度は私自身も、少子化が止まらない徳島県における小児在宅医療の在り方について考える良い機会となりました。学生時代は、公衆衛生学の重要性がよくわからなかったのですが、卒後25年目にして、やっと地域の中での小児在宅医としての立ち位置を理解し始めています。

(小児科 笠松 由華)



第69回四国公衆衛生学会総会にて



我が家のお茶の木の花  
ピンクの花が咲きます！



〒770-8054 徳島市山城西4丁目13-3  
HP: <http://www.kasamatsu-zaitaku.com>

TEL: 088-679-6393  
FAX: 088-679-6394





新年早々、能登半島地震が起こり、こういった有事が繰り返される度に備えの大切さを実感します。お薬に関する情報は、スマホ内のアプリで取得することも可能ですが、通信障害時を想定してスマホの中に写真をとっておいたり、紙媒体としてお薬手帳や薬剤情報を残しておく、そして日頃から家族でも共有しておくことが大切です。少し余分にお薬は持ちつつ、必要時に飲むお薬(熱さましなど)は定期的に期限のチェックもしておきましょう。

寒い中にも少しずつ季節は春に近づいています。クリスマスローズ、モクレン、チューリップ。どれもこれからの時期、素敵な花を咲かせます。特にチューリップは中国名が自身の名前に類似すると教えてもらってから、より一層好きになりました。今年もたくさんの開花を見たいと思います。(薬剤師 宮田)



みなさん、はじめまして！看護師の岡亜矢子（おかあやこ）です。1月から勤務させていただいています。

看護師になり30年余りの月日が経ちました。新卒で小児病院へ就職して20年余り働き、いのちいっぱい輝いて生きる子どもたちの中に光を見ました。その後、看護教員を3年、地元のクリニック等、重症心身障害児や医療的ケア児の児童デイサービスでは5年9ヶ月働きました。保護者の皆様とともに長い期間子どもたちの成長発達を願い、笑顔を見守らせていただき、喜び合えたことは私の宝物です。

この度、地域に根差した0歳から高齢の方までを対象とした在宅クリニックにかかわることになりました。専門医の先生方やスタッフの元で地域医療について新たに学びながら、患者様や子どもたち、ご家族のお役に立てるように丁寧にお仕事させていただきたいです。どうかよろしくお願いたします。(絵・岡)

今年は夏季オリンピックが開催される年ですが、皆さんスポーツはお好きですか？私は昔、学生時代と社会人クラブで10年ほどバドミントンをしていましたが、今ではスポーツとは縁のない生活を送っております。とはいえ、観戦することは好きなので、バレーボールやフィギュアスケートなどをよく見ています(テレビばかりですが・・・)。プロ野球シーズン中には、巨人ファンの甥と一緒に、野球中継を見ることもあります(20年前の私は阪神ファンでした)。オリンピックでは、普段見る機会のない競技をたくさん見るできるので、今から楽しみです。(事務 西岡)

